

科目	臨床実習Ⅱ	担当	林 久恵	履修学年	3年
時間数	90分×時限×90回(週2回)	履修区分	必修	単位数	4単位
<p>【授業目標・到達目標】 理学療法に関する知識と技術を基にして、臨床実習指導者の指導、監督の下で、理学療法の基本的な評価方法を理解し、基本的な技術を取得する。また、関連部門からの情報の収集、評価方法の選択、検査・測定の実施、データの記録、データの統合・解釈を行うことにより、主として身体的な問題の解決を図り、初歩的な治療プログラムを作成するための基本を学ぶ。受講者は、講義・演習・学生相互の実習等を通して学内で学んだ知識と技術を、臨床現場で対象者に接しながら実際に応用し、専門職としての態度が修得することができる。</p> <p>【履修注意】 実習施設で担当する患者を問診・評価する段階では、その疾患から起因するケースの障害像(障害歴、一次障害、二次障害等)を想起できるように、また、その障害に対応した評価技術の実施と治療プログラムの立案ができるように十分に予習しておくこと。</p> <p>【評価方法】 実習指導者評価・実習レポート・出席状況、実習後セミナー(症例発表)により評価する。</p> <p>【試験について】 実施しない。</p> <p>【予習・復習】</p> <p>【教科書】 なし。</p> <p>【参考書】</p> <p>【その他の注意事項】</p> <p>【授業計画・内容】 実習目標 ①理学療法の基本的な評価を実施することができ、その結果から問題点を把握でき、初歩的な治療プログラムを考える。 ②理学療法の基本的な評価を記録することができ、その報告ができる。 ③症例報告の課題をまとめ、提出ができる。 ④医療専門職として責任ある態度と行動を取れる。</p> <p>実習場所 東海記念病院(愛知県春日井市)ほか34施設</p> <p>実習方法 ①1施設に1名～2名の学生を依頼する。 ②学生が「臨床実習Ⅱ」で到達する教育目標を設定する。 ③星城大学の教員と臨床指導者が「臨床実習Ⅱ」での指導の要点を打ち合わせる機会を臨床実習前に持つ。 ④学生に「臨床実習Ⅱ」で作成する症例報告書の指針を指導する。 ⑤学生に「臨床実習Ⅱ」での学生の心得を指導する。 ※学外での臨床(評価)実習(3週間)実施後、学内実習セミナー(1週)において、実習中に担当評価ケースの障害像やその評価のあり方についてのケースステディ(報告・情報交換・討議)を通して、評価過程と治療プログラムを考える。</p>					